

学習プログラムを開発しよう

グループ	西部 B班	メンバー	
------	----------	------	--

1 学習目的

閉じこもりがちな高齢者が積極的に外に出かけられるきっかけづくりになるよう、世代間を越えた交流の場を提供することによって、生きがいを持てるようになる。

2 学習目標

- 人とふれあうことで楽しさを知る(知識)
- 生きがいを発見しようという意識するようになる

3 プログラム名

昔のおもちゃで交流会

4 対象・定員

高齢者 20人

5 参加費(受益者負担を原則として、参加費を算定する。なお、算出の根拠も明確にする。)

1回につき 500円

6 事前に必要な知識や準備物

昔のおもちゃの知識

- 一人で遊ぶ物(折り紙・あやとり・お手五・けん五・コマ回し・竹トンボ)
- グループで遊ぶ物(かるた・すごろく)

7 留意点

- 参加者と集める方法を検討し、各種協力団体事前打合せをしておく
- ケガの防止に留意する(救急箱・一日保険)
- 寒い時間帯に開催するので防寒対策に留意する
- 3回目のお会では飲み物やお菓子を準備する(披露会)

8 学習プログラムの展開

回・ 日程	学習テーマ	各回の学習目標 (◎) 学習内容	学習支援者	学習場所	評価 (振り返りの方法)
1回目 12/21 (土) 10:00 ～ 12:00	昔のおもちゃで 交流会 (遊ぶ)	◎参加者が遊ぶ ことにより、楽しさを 知る お話し(15分) 閉じこもり認知症 ↓ 遊ぶ 個人:折り紙、あやとり他 グループ:かるた、すごろく 遊ぶことに 集中する	老人会 〇〇保輪 民思協 社協 町内会	公民館 (研修室)	アンケート ①時間を長く感じたか 短く感じたか ②何人の人とふれあ いましたか ③次回も参加しま すか
2回目 1/11 (土) 10:00 ～ 12:00	昔のおもちゃで 交流会 (作る)	◎参加者が子供と ふれあうことにより 楽しさを知る ◎参加者がおもちを 作る楽しさを知る ・竹トンボ、お玉作り ・作って子供と一緒に 楽しめながら作る ・作ったおもちゃは 持ち帰り可能	同上 + 子供会 保護者会 PTA	公民館 (研修室) 又は 体育館 ・ ホール	同上 + 子供達へのアンケート
3回目 2/1 (土) 10:00 ～ 12:00	昔のおもちゃで 交流会 (お披露目会)	◎参加者が楽しさを 知るにより、 出かけたくなる ◎人を誘った人へ ・作ったおもちゃ遊ぶ (おろく、かるた) ・子供達と一緒に グループで遊ぶ ・作ったおもちゃは 持ち帰り可能	同上	公民館 (研修室) 又は 体育館 ・ ホール	同上 + 参加者の笑顔のチェック 会場の出口で写真 参加者の笑顔を 一人づつチェックする (職員)